

電子記録債権を活用したシンジケートローン 第 1 号案件の組成について

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：佐藤康博）は、電子記録債権を活用したシンジケートローン「電シロー」として、大成建設株式会社を借入人とする第 1 号案件（組成金額 150 億円、期間：5 年、エージェント：みずほコーポレート銀行）を組成し、2011 年 12 月 26 日付で貸付を実行いたしました。

「電シロー」は、＜みずほ＞の電子債権記録機関であるみずほ電子債権記録株式会社（代表取締役：岸田 守）の電子記録債権を活用し、シンジケートローンの貸付実行に伴い、同シンジケートローンに関する電子記録債権を発生させるスキームで、本年 9 月より取扱を開始しております。

電子記録債権は、電子債権記録機関が管理する記録原簿によって、いつでも債権情報を確認することが可能であり、取引の安全性の高い債権です。従来のシンジケートローンでは、債権譲渡が行われる際、借入人にも事務負担が発生していましたが、この手続も簡略化することができます。

＜みずほ＞は 2011 年度上期の国内シンジケートローンのリーグテーブルで 40%以上のシェア(*)を占めるマーケットリーダーであり、今後、「電シロー」を活用してシンジケートローン市場をさらに活性化し、投資家・借入人の双方がより利用しやすいマーケットの確立を目指していきます。

(*)出典：トムソン・ロイター

「国内シンジケートローンブックランナーシェア 2011 年度上期」

以 上